



小春日和の中 ふるさと文化芸能祭を開催

11月3日(日)文化の日に第41回ふるさと文化芸能祭が開催されました。

前日の大雨とうってかわり、当日は爽やかな秋空の下、昨年同様の500名余りの皆様にご来場いただき大盛況でした。

古牧公民館集会室と和室では展示部門、また古牧小学校西体育館では芸能部門が行われました。

展示会場の2階集会室では、書道、生花、盆栽、陶芸、絵画、写真、木彫りなど、各地区の皆様により出品された70点余りの大作、力作が展示され、どれも素晴らしい作品で来場された方々が熱心に見入っていました。

2階の和室には、伝統文化いけ花親子教室の作品が展示され、小学生のかわいい生花が所狭しと並べられていました。

芸能部門会場では開会式終了後、和田神社御神楽芸能同志会の神楽で芸能部門が開幕しました。その後も伝統の古牧音頭、上高田音頭や太極拳の演武、小学校の合唱や小・中学校の金管バンドや吹奏楽部による演奏、ゴスペルやジャズ演奏と多種多様な演目で会場に詰め掛けた聴衆を魅了していました。

閉会式と共に行われたお楽しみ大抽選会では、抽選番号を読み上げる度、歓声と拍手があがり、とても盛り上がりしました。

(公民館部)

展示部門



手芸・工芸



書・絵画



工芸・写真



生花

芸能部門

1 和田神社御神楽芸能同志会 (西和田区)



2 古牧音頭 (南高田区有志会)



3 金管バンド (緑ヶ丘小学校金管バンド)



4 合唱 (古牧女性コーラス)



5 合唱 (古牧小学校合唱部)



6 太極拳 (太極拳古牧)



7 合唱 (櫻ヶ岡中学校合唱部)



8 上高田南向音頭 (上高田区民有志)



9 吹奏楽 (三陽中学校吹奏楽部)



10 ゴスペル (GS&RDクワイア)



11 合唱 (南部小学校合唱団)



12 JAZZ演奏 (東和田音楽クラブ「イースト」)



視察研修 ～防災対策と環境美化の活動に向けて～

10月21日（月）から22日（火）まで、住民自治協議会の会長、副会長、総務部、自主防災会、環境美化部、防災指導員など34名が参加して「防災と環境美化」について長野市や岡崎市、静岡市、富士市にある各施設で視察研修を行いました。

21日（月）は、早朝に長野市大豆島にある「直富商事株式会社」を訪問しました。地域の各団体が行う古紙、空き缶、新聞紙などの長野市報奨金対象品の資源回収について回収方法の事例などのビデオ研修をし、その後、廃材を活用して細かく裁断し圧縮したペレット（固形燃料）や捻出される液体燃料などの生成方法などの説明を受けました。同社の積極的な「持続可能な環境社会」を作るための取り組みについて感心しました。

午後は、愛知県岡崎市の「岡崎市消防本部」を視察しました。

この消防本部では、市民383,915人の生命財産を守るため、約400名の職員が勤務して、各種災害に対応しています。本部には日本に一台しかない全地形対応車「レッドサラマンダー」という全長8.72m、総排気量7,240ccの特殊車両が総務省消防庁から緊急消防援助隊車両として配備されており、災害があると荒地、不整地、土砂や瓦礫など一般車両では走行不能な災害現場で人員、物資の搬送や救助救援活動に従事するとのことです。救助隊員

より能登半島地震にも出動し捜索活動を行ったと聞き、大いに活躍が期待される頼もしい車両と感じました。また、日本一長い54メートル級はしご車も見学しましたが、高層の建物の火災などに活躍するとの事でした。今後のご活躍を願い本部を後にしました。

22日（火）は、静岡県静岡市の「静岡県地震防災センター」の視察を行いました。

このセンターは、平成元年4月に開館、近年のあらゆる災害への対応を見据えて令和2年6月にリニューアルオープンした施設とのことです。初めに担当職員からセンターの説明を受け、「地震・津波」、「風水害」、「火山災害」、「備蓄品の備え」などのコーナーを案内していただきました。地震や水害などの各コーナーでは、基礎知識や事前の備え、適切な行動を取ることをビデオやパネルでわかりやすく説明を受けました。

1階のシアターでは、今後、想定される南海トラフ地震のメカニズムや被害想定などについて上映があり、地震体験装置では数グループに分かれ装置に乗り込み震度7の揺れを体験し、いつ起こるかわからない地震の恐ろしさを痛感しました。静岡県では日頃からの備蓄を7日分として、水は一人1日3ℓで21ℓ、携帯トイレも一人1日5回分で35回分を推奨しています。また、以前行った備蓄のアンケート調査では、備蓄をしていると回答



次頁へつづく

前頁のつづき

した世帯は85%ですが、7日分の備蓄は6.3%であったとのこと。新たに7日分非常食を備蓄するのは大変ですので、普段からの買い置きや日頃の食べ慣れた食品を活用してローリングストック（回転備蓄）を習慣づけて、大規模災害に備えるよう呼びかけているそうで、大いに参考となりました。

午後は、静岡県富士市新環境クリーンセンター「ふじさんエコトピア」を視察しました。この施設では、楽しみながらごみ処理や環境のことを学ぶことができます。SDGs循環型社会及び低炭素社会の形成に向けての中心的な役割と機能を有しており、自然環境にも配慮した屋外啓発ゾーンや森林環境創造ゾーンなどを体験することができました。2班に分かれて職員と案内ボランティアスタッフの



ごみてなに？ 分別立体図鑑

分かりやすい説明であっという間の1時間でした。

1日目のバスの中では防災や環境に関する問題が記載されたテストペーパーが配られ、難問で頭が痛くなる思いでしたが、研修を通じて互いに学び交流を深めた有意義な研修でした。
(総務部・環境美化部)

健康で元気な古牧をめざして！ ～古牧地区健康づくり大会～

10月6日（日）午前10時より古牧社会体育館を会場に「令和6年度古牧地区健康づくり大会」が開催されました。

開会式後、ラジオ体操指導士の池田あゆみ様を講師にラジオ体操第一を1動作毎についてご指導をいただきました。普段は手足の先まで意識することなく行っていたラジオ体操でしたが、当日は参加者の皆さん真剣に体操をしておりラジオ体操の効果を心身全体で感じたとのことでした。



その後、AC長野パルセイロ・レディースのゴールキーパーの風間選手ほか6名とコーチ3名、そして95名の参加者が一緒に数メートル離れたカラーコーンにボールを当てるゲームを行ったり、コート2面を使用してミニゲームを実施しました。小学生から高齢者まで協力して、真剣にボールを追ひゴールネットにボールが入った時は大きな歓声が沸いていました。

最後は、参加者全員でジャンケン大会を行い、AC長野パルセイロ・レディースの選手よりユニフォームやサッカーボールなどの豪華な景品を頂き、参加者は大喜びでした。

当日は、室内ではありましたが、汗ばむ陽気の中、参加者の皆さんには良い運動になったと好評でした。AC長野パルセイロからは、来年も古牧地区の皆さんと交流を計りたいとお話がありました。

(福祉部会)

福祉推進員の役割

～福祉推進員研修会を開催～

9月13日（金）午後7時から古牧公民館集會室で令和6年度古牧地区福祉推進員研修会を開催しました。

各区の福祉推進員等65名が参加して、講師に長野市社会福祉協議会地域福祉課小林ひとみ様と福島有基様をお迎えして、「福祉推進員の役割」についてお話しがありました。

福祉推進員に求められる活動がサロン活動の推進との説明があり、講演の中で「第三の居場所はどこですか？」また、「第三の居場所は何がいいですか？」についてグループワークを実施、区毎のグループで話し合いを行い、代表者が結果を発表しました。

一般的には、第一の居場所は家庭、第二の居場所は職場・学校です。では、第三の居場所とは何処を考



所とは設問されたら皆さんは何処を考えますか。お茶のみサロン等は、楽しく、無理なく。気軽に過ごせる集いの場として考えれば、第三の居場所のひとつではないでしょうか。

講師よりサロンの重要性について理解して展開していくことが福祉推進員の役割のひとつのお話しがありました。（福祉部会）

子育て支援



ハロウィンパーティー



10月10日（木）に平林公民館において子育て支援のハロウィンパーティーが6組の親子さん達の参加と友愛ボランティア、民生、福祉推進の役員9人。講師として飯森麻衣様を



迎えて楽しく行われました。

小さなお子さん達だけでなく、親御さん達

も、さらに役員のおばさん、おじさんも一緒になって皆で歌を歌いながら輪になって踊ったりと大変賑やかな会となりました。

お子さんが「トリック・オア・トリート」と言いながら回るとハロウィンの仮装をした役員さん達が「ハッピー・ハロウィン」と言ってお菓子を配り、お菓子をもらった子供達は大喜びをしていました。

ハロウィンは外国のお盆のような行事。ご先祖様と共にお子さんの未来が平和であります様にと願います。（子育て支援部）

歴史探索

ぐるりおがまち

川端区

登龍門をくぐって祈願成就！

古牧郷土史研究会 高橋 郁生

川端にある川端天神社は、由来によると「創立年月不詳なれど旧北高田村（川端）の産土神たり」とあります。いわゆる土地の守り神です。学問の神様と言われている菅原道真公を主祭神としている川端天神社では、秋季例大祭や大祓祭等の祭事の他に、特別祭祀

となる「登龍門祈願祭」を毎年行っています。絵馬に願い事を書いて「登龍門」をくぐり、拝殿で宮司から祝詞を賜って参拝をし、絵馬を拝殿の掛所に掛けて成就を祈願するものです。

次頁へつづく

大江健三郎氏がノーベル文学賞を受賞した平成6年から始まった登龍門祈願祭は、実施日の変遷を経て、令和6年1月3日には節目となる30回目を迎えました。天神社の総代や区長、各種団体の役員など総勢60名ほどからなる実行委員会が組織され、5つの部会が準備や運営を担う、まさに川端挙げてのお正月の行事です。合格祈願や学業成就、就職祈



願、家内安全、交通安全等、様々な祈願を行っています。登龍門祈願祭には、ありがたいことに区内だけでなく区外の方たちにも足を運んでいただき、お正月にふさわしい装いが天神社の境内を賑わせています。

祈願祭当日には、一般祈願に先立って、来年度小学校入学予定の幼児を対象にした「入学祝い」「学業成就」を宮司より祝詞を賜る特別祈願も行っています。子供たちは、緊張しながらも祈願祭を楽しんでくれています。

乙巳となる令和7年の1月3日に行われる、川端地区の先輩たちが実直に受け継いできた登龍門祈願祭を、次世代に着実につなげていく年にしたいとあらためて考えているところです。

乙巳となる令和7年の1月3日に行われる、川端地区の先輩たちが実直に受け継いできた登龍門祈願祭を、次世代に着実につなげていく年にしたいとあらためて考えているところです。

しゃばえんびつ



ChatGPTをつかってみて

「ChatGPT」は、人間と会話をしているような自然な対応と、瞬時に回答を得られることから利用者が急増している、生成AIを活用したチャットサービスです。

内容や文字数も指定でき、個人的は便利だと思っています。

例えば、「長野市古牧地区」、「200字 説明」と指示したら表示された内容が下記となりました。

『長野市の古牧（こまき）地区は、長野県長野市の南部に位置するエリアで、交通の利便性や豊かな自然環境が魅力の地域です。古牧地区は、長野駅からのアクセスが良好であり、住宅街や商業施設が点在しているため、住環境が整っています。また、四季折々の風景が楽しめる公園や遊歩道が整備されており、家族連れや

散歩を楽しむ人々にも人気です。地域には伝統的な神社や寺院も点在し、歴史的な雰囲気を感じられる一方、近年は新しい店舗や施設も増えており、古き良き面と現代的な面が調和しています。』（あくまでのChatGPTが回答した内容なので、ご了承ください）

そのほかにも絵も描いて（自動生成）くれます。

「日本」、「田んぼ、風景」、「白黒作成」

あと、挨拶文や小説なども作ってくれるので活用の仕方によっては楽しいものだと思います。

（横山 雅史）



ChatGPTが描いた絵

12月から1月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和6年11月1日現在

11,904 世帯

26,093 人

（男 12,923人 女 13,170人）

■発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）

■発行者 西澤 征防
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 ㈲小池印刷



HP
ご覧ください